

小中学生が川での楽しさや危険を体験 ～尻別川水辺の安全講座～

川で遊ぶ楽しさと危険を知り、安全で楽しい活動ができるようになることを目的に水辺の安全講座が8月2日にランラン公園で行われました。今年には主に地元の小中学生が参加し、川での危険なポイントや危険な行為をビデオを使って勉強した後、実際に尻別川の浅瀬に入り、安全な歩き方を体験しました。また、川でおぼれた人を専用の水に浮くロープ(スローバック)を使って助ける(助けられる)「スローバックレスキュー」も勉強しました。



← 川での安全な歩き方を体験
「川の中は滑りやすいところや、急に深くなるところ、釣り針なんかもあるよ。川の中を歩くときは裸足やサンダルは危険！脱げにくく滑りにくい靴をはこう。」



スローバックレスキューの実演 →
「流されたときは仰向けで、岩や木があれば足で蹴りながら避けてね！」
「投げられたロープは岸と反対側の耳の近くでつかむと体が自然と岸に寄ってくるよ。」

豆知識

特定外来生物※「オオハンゴンソウ」

道路沿いや田畑の近く、河川敷などで咲く黄色い花(写真)を見かけたことがありますか？

この花は「オオハンゴンソウ」というキク科の植物で、北アメリカ原産の外来種です。特定外来生物※に指定されています。黄色い花がまとまって咲いていると一見きれいな風景に見えますが、この花は繁殖力が強く、地域にもともと生息していた植物(在来種)へ悪影響を及ぼすおそれがあります。尻別川の河川敷にも多く見られることから、河川の工事現場で特定外来生物(植物)を確認したときは、他の地区に広がることのないように対策をとっています。



オオハンゴンソウ
(尻別川河川敷・名駒付近)

※特定外来生物とは：外来生物(海外起源の外来種)であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されます。特定外来生物は、生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれます。(環境省ホームページより)

まるごとまちごとハザードマップ

～蘭越町内に洪水時の避難場所を表示～

ハザードマップとは洪水や津波など自然災害による被害を予測し、想定される被害の範囲、避難場所、避難経路、その他避難の時に必要な情報を地図を使って表したものです。蘭越町では平成16年3月に洪水ハザードマップが公表されました。

この洪水ハザードマップで浸水の危険がある場所や避難場所に、実際に看板を設置したのが「まるごとまちごとハザードマップ」の取り組みです。蘭越町内では避難誘導用の看板を港地区、名駒地区、大谷地区、蘭越(豊国橋付近)の4地区に計8箇所設置しています。

※蘭越町の洪水ハザードマップは、
蘭越町役場、又は蘭越町のホームページでご覧いただけます
<http://www.town.rankoshi.hokkaido.jp/bousai/>

看板には次の情報が書かれています



●避難場所までの方向と距離
「避難場所まで矢印の方向に約1600mです」

●想定される洪水が発生した時に、この付近が浸水する深さ
「この付近では深さ4m浸水する可能性があります」

※想定している洪水は概ね100年に1回程度発生する大雨(流域平均雨量250mm/2日)で、尻別川で最大の流量を観測した昭和50年8月に発生した洪水時の約1.3倍の降雨量に相当します。

避難場所の看板(蘭越小学校)



●最寄りの避難場所
「ここから近い避難場所は蘭越小学校です」

尻別川新聞では河川での取り組みや工事、イベント、地域の情報など様々な話題を取り上げていきます。

ご不明な点やご意見、尻別川に関する話題がありましたら倶知安開発事務所蘭越分庁舎までご連絡ください。

小樽開発建設部倶知安開発事務所蘭越分庁舎
(旧蘭越河川事業所)
0136-57-5331



豊国橋付近



大谷地区



港地区



名駒地区